

東京福祉大学×伊勢崎市 協働企画

社会に貢献できてうれしい

私たちの会社では、伊勢崎市社会福祉協議会でフードドライブが初めて定期開催された令和5年6月から寄付をしています。寄付するものは、比較的賞味期限が長いインスタントコーヒーやレトルト食品のほか、洗剤やタオルといった日用品などを社員全員が1人1個持ち寄り、集めています。そうして集まったものを、会社を代表して持ってきています。

企業として、こうして社会に貢献することができて、本当にうれしいです！家庭で使わない食料品や日用品などをフードドライブへ寄付することで、生活に困っている人などの助けとなるので、皆さんにも気軽にフードドライブに参加してほしいです！



企業を代表し寄付に来た人

ボランティアで参加した高校生

多くの人にフードドライブを知ってほしい

今回、フードドライブに初めて参加しました。きっかけは、「JRC」という高校の部活動や委員会、先生から紹介されたことでした。会場には想像以上に多くの寄付品が集まっており、驚きました。フードドライブはまだ知名度が低いと思うので、もっと多くの人にこの活動を知ってもらいたいです！



昨年度から始まった市内大学の学生との協働企画。東京福祉大学との企画第2弾は、東京福祉大学の学生記者が市内で行われているフードドライブと子ども食堂の取材を行い、記事を作成しました。



▲取材の様子を市ホームページで紹介

問い合わせ 広報課(☎27-2711)

※フードドライブや子ども食堂に関することは伊勢崎市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター(☎27-5974)にお問い合わせください



伊勢崎市社会福祉協議会の人によると



いずれは常時寄付品の受け入れを！

集まった寄付品は、子ども食堂やフードバンクなどの団体へ受け渡し、その後、各団体により必要とする人に届けられます。寄付品は、運営を手伝ってくれた団体のみに受け渡すこともあれば、市内の各団体に受け渡すこともあります。

現在のフードドライブの課題は、寄付品をいかに安定して各団体へ提供できるかということです。そのため、今は2カ月に1度の開催ですが、いずれは常時寄付品を受け入れられるようにしたいと考えています。

寄付品は、最終的に誰の役に？

フードドライブなどで集まった寄付品はフードバンクや子ども食堂に受け渡されます。

フードバンクでは、主にひとり親世帯や高齢者世帯などの生活に困窮している人へ寄付品を支給しています。

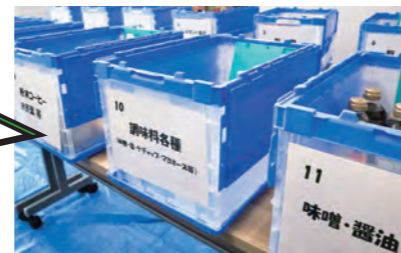
子ども食堂では、食料品を温かい料理にして提供しています。



こんな食料品が集まります！

米、菓子、レトルト食品(カレー・中華の素・ソース)、インスタント食品(ラーメン・スープ・味噌汁)、乾物(うどん・パスタ)、飲料(缶・ペットボトル)、缶詰(さけ・さば・シーチキン・肉)、粉末コーヒー、調味料(みそ・しょうゆ・砂糖・塩・ケチャップ・マヨネーズ) など

集まった寄付品は、種類ごとに仕分けされます！



「もったいない」を「ありがとう」に！

フードドライブ

「もったいない」食品、眠っていませんか？

皆さんの家に使わずに眠っている食料品はありませんか？ フードドライブは、そのような食料品を集める活動です。集まった食料品は、子ども食堂やフードバンクなど、必要としている人に食料品を提供する団体に届けられます。本市では、伊勢崎市社会福祉協議会が中心となり、令和5年3月からフードドライブの活動が始まりました。今回はそんなフードドライブに関わる人たちにインタビューを行いました。フードドライブの開催日時や会場は、市ホームページや広報紙に掲載されますので、ぜひ皆さんもフードドライブに参加してください！



家では使わないものが誰かの役に！

孫が通う学校でフードドライブが行われるというお知らせがあり、フードドライブのことを知りました。孫が当日学校に持っていきようとしていた食料品を家に忘れてしまったため、広報紙に記載されていたフードドライブにその食料品を持ってきました。我が家では、店で買った小分けの調味料を捨てるのがあったので、そういった調味料やインスタントコーヒーなどを寄付しました。捨てるのが、誰かの役に立つと思うとうれしいです！



寄付に来た市内在住の女性

12ページで子ども食堂を紹介！